

市政記者各位

令和8年1月22日
福岡市博物館

福岡市博物館 2月スタートの企画展

ぜひご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

花爛漫の江戸時代 2月3日(火)～4月19日(日) 企画展示室1・2・4

三月三日の桃の節句や五月五日の端午の節句（菖蒲の節句）、春の花見など、昔から日本の年中行事や娯楽には花と関わりのあるものが多く、人びとは四季折々に咲く花を通して季節の変化を感じながら自然と調和した生活をしてきました。

本展では、福岡市で開催する「Fukuoka Flower Show 2026」（3月22日～26日）にあわせて、江戸時代における人びとの暮らしと花とに関わりについて、着物や身の回りの道具類、屏風や錦絵といった絵画資料などから、四季を通じて花に親しんだ江戸時代の人びとの姿を紹介します。



翡翠製勾玉（西区・五島山古墳出土）



美人観桜図（江戸時代／作者不詳／紙本着色）

勾玉展 2月3日(火)～4月19日(日) 企画展示室3

現代でも、アクセサリーのモチーフや歴史の体験学習の素材としても使われている勾玉。その歴史は古く、福岡では3千年以上あります。長い歴史の中で、勾玉の形も役割もさまざまに変わってきました。本展では、福岡市内から出土した勾玉100点余を集め、その歴史をひもときます。

【開催概要】

場 所 福岡市博物館 2階 企画展示室
時 間 9時30分～17時30分（入館は17時まで）
休館日 月曜日（月曜日が休日の場合は翌平日休館）
観覧料 一般200（150）円 高大生150（100）円
中学生以下無料

※（ ）内は20人以上の団体料金

※ 料金は常設展示室・企画展示室共通